

## 令和6年度 第2回 学校運営協議会

日時：令和6年12月11日(月) 15:00～16:00

場所：校長室

出席者：大束委員、松宮委員、石田委員、多賀委員

事務局：浦校長、辻教頭、中川事務長、小林首席、岩田首席

欠席者：田中委員、宇佐美委員

内容

### 1 開会

- ・会長挨拶
- ・校長挨拶
- ・出席者紹介

### 2 令和6年度授業アンケートについて

- ・アンケート結果については資料参照
- ・全体的に高い水準を維持できている
- ・ICTの活用に教科間での差がある
- ・ICTの使用を目的とするのではなく、深い学びになるよう工夫し、活用することが必要
- ・相互授業見学習慣を実施し、研究協議会を行った  
→教員間で互いの授業（特に他教科）を見ることで自分の授業を見直すきっかけとなった

### 3 令和6年度進路の進捗状況について

- ・2年1月と3年4月に「受験指導ガイダンス」を実施している
- ・2年生の冬休みの課題として「第一志望宣言書」を提出させている  
3年生（15期）の受験状況
- ・追手門大学 公募 55名受験 40名合格  
指定校 4名受験 4名合格
- ・佛教大学 1名合格

### 4 その他（学校訪問・食堂等）

資料参照

### 5 協議（敬称略）

#### ①ICTの活用について

（松宮委員）ICTの活用が生徒にどのような効果があるのかを検証していく必要がある。生徒のどのような能力の向上につながっているか考察するべきだ。

（小林首席）例えば社会科では、調べ学習やスライドを用いた発表を行っている。中にはICTの使用に難しさを感じて取り入れていない教員もいる。教科内や教科を超えての意見交換が今後必要となるだろう。

（松宮委員）学校として学習教材的なものを取り入れているのか。

（小林首席）まだ取り入れていない。学校単位で動くのではなく、府が導入して各校で実施されるという形になるだろう。

#### ②地域連携について

（石田委員）阜の生徒の登下校における自転車マナーは良くなってきているように感じる。地域内における中学生と阜の生徒との関係も特に問題なく、良好な関係性を築くことができているだろう。

今日、校内で何名かの生徒から挨拶をされた。そのような生徒を増やして  
いってほしい。

(校長) 地域での本校のあるべき姿や、生徒のあるべき姿を見つけ、実現するべく学校関係  
者全体での協力が必要となってくる。

(多賀委員) 来年度、合唱コンクール本選に地域の方を招待することや、今年度、障がい  
者施設の方を文化祭に招待していることをもっと発信して、地域との関わりが  
深いことをアピールすればいいのではないか。

文化祭の入場に関して、金土に開催するのであれば、土曜に3年生の劇を開催  
するようにして、できるだけ多くの人に見てもらえるようにしたい。金曜は  
仕事で来ることができない保護者の方も多し。土曜の午後も入場可能にして  
合唱コンクールの本選を多くの人に見てもらいたい。

(教頭) 東寝屋川高校の時に一般客を合唱コンクールの入場可能にしていたが、合唱の妨げ  
になる事案が発生したため、生徒のためを思って、一般客の入場を禁止にした。

### ③授業アンケートについて

(大東会長) 授業アンケートの数字が高いことはもちろん素晴らしいことであるが、回答の  
数値が低い生徒へのアプローチを考えていかないといけない。ほとんどの生徒  
の理解度が高い数値を出している授業であっても、中には理解に苦しんでいる  
生徒が一定数いるだろう。その生徒に対する個別での指導体制を整えてほし  
い。

また、生徒のアンケート内での評価と成績には相関があるのか。アンケートで  
理解できていると回答している生徒は本当に高い成績を出せているのか、  
アンケートで高い評価を回答している生徒の成績があまり振るわない場合はど  
うやって支援していくかを考えてほしい。

### ④高大連携について

(大東会長) 本日紹介された大学以外に高大連携を行っている大学はあるのか。

(校長) 四天王寺大学様と連携させていただいているが、距離が遠い。生徒の中での知名度  
を向上させるための取り組みが必要だろう。前提として、生徒それぞれの進路に対  
する知識が浅すぎる。また、興味・関心も薄い。中には受験でその大学を訪れるま  
で大学に足を運んだことがなく、大学のことについても何も知らないという生徒ま  
でいた。

進路 HR をはじめ、生徒が実際に大学のことを知る機会や肌で感じる機会を今後増  
やしていきたい。

大学側から高校生に向けて説明会や学校案内を行うなど働きかけていただくことは  
可能か。

(大東会長) 大学側としてもそのような機会を設けたいとは常々考えている。ただ、阜から  
の合格者数や入学者数がここ数年で多くなっている大学に関しては高校側から  
の働きかけが必要となってくるだろう。

(松宮委員) 大学の探究活動等に関わって入学した生徒へのメリットなどはあるのか。

(校長) 入学金の支援や学校 HP で掲載があり、宣伝につながっている。

以上